

第30回 駒の子祭・開校30周年記念式典が開催されました

令和7年10月17日（金）・18日（土）の2日間にわたり、本校の文化祭「駒の子祭」が開催されました。今年は第30回という節目の年にあたり、開校30周年記念式典も併せて行われ、特別な2日間となりました。

【1日目：10月17日（金）】

初日は午前中に開祭式が行われ、いよいよ駒の子祭がスタート。午後には開校30周年を祝う記念式典が開催されました。



お昼には、30周年を記念した特別給食が提供されました。4月の全校集会で、30年前に人気だったメニューを紹介し、その中から「食べたいおかず」のアンケートを実施。懐かしいメニューが並び、笑顔あふれる昼食時間となりました。





午後の記念式典では、「たのしもう、つくっちゃおう！」をテーマに、全校で制作した作品のお披露目が行われました。また製品を購入いただいた方へプレゼントするトートバッグの紹介、タイムカプセルの完成披露がありました。未来へのメッセージが詰まったタイムカプセルは、児童・生徒たちの思いが込められた大切な記念品です。



式典の最後には、「楽団ケ・セラ」の皆さんによるコンサートが行われました。懐かしい昭和の名曲やアニメソングを中心に、手話やダンスを交えた演出で、会場は一体感に包まれました。



観客も一緒に手話をしたり、歌を口ずさんだりと、音楽を通じて心がつながる温かい時間となり、予定の時間を超えるほどの盛り上がりを見せました。式典の締めくくりにふさわしい、感動的なひとときでした。

【2日目:10月18日(土)】

2日目は一般公開日。天候にも恵まれ、地域の皆様にも多数ご来校いただき、校内は大いににぎわいました。

各部や寄宿舍による活動や販売、PTA や有志による催し物、みやまの家さんの販売など、どの会場も多くの来場者で活気に満ちていました。



また、本校の特色である「馬の学習」の一環として、今年も開田高原「木曽馬の里」から木曽馬が来校。校庭では乗馬体験イベントが開催され、子どもから大人まで、木曽馬とのふれあいを楽しむ姿が見られました。



30 回目の節目を迎えた駒の子祭は、児童・生徒、教職員、保護者、そして地域の皆様が一体となって創り上げた、心温まる記念行事となりました。

これからも本校は、地域とともに歩み、子どもたちの笑顔があふれる学校づくりを続けてまいります。

